

海津木苑運営委員会（平成28年度12月期）

会議録

1. 日時： 平成28年12月22日（木）14時00分 開会
2. 場所： 古賀市海津木苑 会議室

3. 出席委員（13名）

委員長	結城 弘明	副委員長	清原 留夫
委員	智原 和子	委員	簗原 弘二
委員	奴間 健司	委員	田中 英輔
委員	安武 正一	委員	矢部 桂吾
委員	三好 収	委員	池見 直喜
委員	横田 昌宏	委員	松尾 佳久
委員	渡 行弘		

4. 欠席委員（森委員）

5. 傍聴者数（1名）

6. 事務局出席職員職氏名

市民部長	智原 弘文	環境課長	智原 英樹
海津木苑場長	伊東 孝廣	海津木苑係長	吉田 義昭
海津木苑職員	国本 勝喜		

概要

- 啓発映画「生命光る町に」上映 14:00 開会
14:00～15:00
1. 古賀市あいさつ 15:15～
 2. 委員長あいさつ
 3. 協議事項及び報告
 - ① 会議録について 資料.1（事務局より説明）
 - イ. 10月期会議録
 - ロ. 12月期会議録署名（結城委員長・田中委員）【質疑・意見】 なし
 - ② 海津木苑運営に関する実施状況 資料.2（事務局より説明）
 - ・平成28年10月及び11月の処理状況について

[質疑]

委員 : 資料. 2 の 2 ページで、薬品使用状況の苛性ソーダ・メタノール・ポリテツEの使用量が多いがなぜか。また、3 ページ検査項目、COD・大腸菌群数の数値が高いのはなぜか。

[答弁]

海津木苑 場長 : 沈殿槽から流入するCOD値が高かったため、放流水のCODを基準値以内にす
るために、薬品の使用量が多くなった。

[答弁]

海津木苑 職員 : 大腸菌の質疑についてサンプル採取時には、手洗いを2回励行し細心の注意を払
っておりますが、手洗い後にドアノブ等に接触した可能性が疑われます。そのため、
大腸菌群数の数値が高くなったと考えております。

[補足・答弁]

海津木苑 場長 : 採取時、手についている雑菌が、試料に混ざり大腸菌群数の数値が高くなったと
推測されます。通常、放流水には大腸菌はいない。次回採取時は、作成したマニユ
アルに沿って2名体制での採取を考えております。

[質疑]

委員 : 11月分の薬品料金が年平均より約15%ほど高いがなぜか

[答弁]

海津木苑 職員 : 生物槽の水温が冬場に掛けて下がった影響と、搬入し尿等の性状により色度・C
OD値が高くなったために、ポリテツEと苛性ソーダの添加量が増え薬品料金が高
くなった。

③ 海津木苑臭気・騒音・振動測定結果について 資料.3 (事務局より説明)

・第2回臭気等測定(11月18日(金))

立会者(清原副委員長)(安武委員)

[質疑・意見] なし

[感想]

委員 : 測定に立ち会った当日、測定中に地震があり精密な測定器にもかかわらず検出し
なかったことは、海津木苑の敷地の地盤がしっかりしていると感じました。

④ 海津木苑施設等啓発について 資料.4 (事務局より説明)

イ. 海津木苑施設見学(小野小学校4年生) 10月26日(水) 見学者 61名

ロ. 第32回まつり古賀 海津木苑施設啓発 11月20日(日) 来場者約 450名

ハ. 海津木苑施設見学(古賀西小学校4年生) 11月24日(木) 見学者 71名

- 二. 海津木苑施設見学（青柳小学校 4 年生） 11 月 30 日（水） 見学者 41 名
ホ. 海津木苑ゲストティーチャー（古賀西小学校 4 年生） 11 月 30 日（水） 参加者 71 名
※ 海津木苑啓発冊子について

[質疑]

副委員長 : 小学校 4 年生の見学は、どのような内容で学習しているのか。また、海津木苑啓発冊子を 1,000 部作成としており、部数が少ないと思うがどのように考えているのか。

[答弁]

海津木苑 場長 : 見学の内容として、はじめに子どもたちにバキュームカーの説明とカラーケースに水を張り吸引するところの実演を見て理解してもらっている。

次に、研修センターの会議室において、パワーポイントソフトを使い絵をスクリーンに映し処理の説明を行なっております。

次に、事前に子どもたちからいただいた質問内容も、出来るだけ理解してもらるように、絵や写真をスクリーンに映し回答しています。

その後、施設内の見学をしていますその際子どもたちに理解して欲しいのは、しっかり鼻で吸ってどんな臭いがするか以前は、建物の中に入り直ぐに鼻をつまみ臭いと頭で臭っていた子どもがたくさんいた。臭いは、頭で臭わず鼻で臭い自分で判断するよう伝えております。

冊子 1,000 部については、海津木苑に見学にこられた方へ配布する資料として考えている。あと、学校の先生方は学年に応じて、し尿処理学習をされております。

冊子の内容的には、「排育」という造語を使った啓発を行っています。

子どもたちが、2 割ほど学校で大便が出来ていない状況がアンケートで出ております。学校で排泄行為ができれば、し尿処理施設も理解していただく取組みとなるよう今回啓発冊子を作成し、基本、施設に来られた方へテキストとして見ていただく、あとは、小中学校の先生方へし尿処理学習のテキストとして活用していただく。

市の職員に関しては、作成したデータを業者からいただき、庁内メールで発信し共通認識を図りたいと考えている。

[質疑]

副委員長 : 西小学校の研修の内容には、バキュームカーの説明写真が載っていないがなぜか。バキュームカーの説明をする学校としない学校があるのか。
啓発冊子については、1,000 部ではいかがなものかと思えます。

[要望]

委員 : 啓発冊子 1,000 部とは、見学者 1,000 人来ていただければいいと聞こえる。
来年 1 月に役員等関係者の施設見学を予定している。鹿部区地元自体約 1,200 世帯あり、地元にも知っていただくためにも部数を増やしていただきたい。

[要望]

委員 : 啓発冊子については、増刷をお願いしたい、市内 8 小学校 4 年生の子どもたちに冊子を配布し、子どもたちが家庭へ持ち帰り家族とも勉強になり啓発が、二乗三乗の効果が出ると思います。

[質疑]

委員 : 啓発冊子表紙の絵で海津木苑を中心として、農業集落排水施設や水再生センターの関連性が解りにくい。

[答弁]

海津木苑 場長 : 表紙の絵については、古賀市内で排泄されたし尿は、3 施設のどこかで処理がされていることを表記しております。

なお、1 月 13 日までにある程度まとめて、翌週 に印刷会社へ投稿を考えております。

[意見]

委員 : 啓発冊子については、海津木苑だけで検討するのではなく、例えば広報担当や別の所管課や教育委員会で検討し、よりいいものを作成していただきたい。

内容を見ると言葉使いや漢字の使い方がばらばらであり、統一性をもたせていただきたい。

[答弁]

海津木苑 係長 : 先ほどの副委員長のご質問で、西小学校についてもバキュームカーの説明はしております。

⑤ 海津木苑将来構想策定について (事務局より説明)

ケース 1 : 施設の場所⇒海津木苑、施設・更新種類⇒新設、処理方法⇒生物処理

ケース 2 : 施設の場所⇒海津木苑、施設・更新種類⇒一部利用、処理方法⇒個液分離

ケース 3 : 施設の場所⇒海津木苑、施設・更新種類⇒新設、処理方法⇒個液分離

ケース 4 : 施設の場所⇒水再生センター、施設・更新種類⇒新設、処理方法⇒個液分離

ケース 5 : 施設の場所⇒海津木苑、施設・更新種類⇒長寿命化、処理方法⇒生物処理

[質疑]

委員 : 報告書提出の時期の目途はいつになるのか

[答弁]

環境課長 : まとめ作業の進捗状況にもよるが、市長への報告を 2 月末から 3 月と考えている。

[質疑]

委員 : 前回の議論の中で、4 パターンプラスもう一つのパターンという異論も起き私は、4 つで絞り込むとバイオマス構想の市長の最終判断が、逆に違うパターンが出てきたときに整合性がとれないので、慌てない方が良いと思う。大きなポイントは、地元協議をしてもどのパターンでいくのか決まらない限り難しいと思う。

平成 28 年度中に市長が、バイオマス構想について方向性を出す事が出来るのか。それが出る前にパターンを決めると後でつじつまが合わないと心配しています。年度内に判断材料の報告書は出すが、どのパターンを選ぶのか 4 プラス 1 の判断は、年度内に出すのは難しいと思う。

[答弁]

環境課長 : 報告書のみではなく、運営委員会の意見や地元からの提案を合わせて市長へ報告を考えており、事務局からは、方向性・選択肢があることを出来るだけ幅広くいろんな観点から判断出来るような材料を揃えていきたい。

[質疑]

委員 : メタンガス発酵施設の可能性や実証実験含めて、報告書が 2 月ぐらいに出ると思うが、パターン 4 プラス 1 を選択するタイムリミットはいつになるのか。

[答弁]

部長 : 出来るだけ早い時期に市長が方向性を出す材料を、整理して渡すことは基本原則である。もう一方でバイオマス発電の関係もあり、その関係についても市長は、できるだけ今年度方向性を出す考えを持っております。

そちらの方も補助金を受けて分析調査を進めており、判断するタイミングが市長としても難しいところがあります。バイオマスの関係については、2 月 10 日過ぎに報告書が上がってくる時期に、海津木苑の将来構想についても出せたらいいと思っている。

前回、海津木苑の運営委員会の中で、委員さんより協定書を結んだ協定者との協議も大事ということで、正式に古賀市長名で将来構想についての議論をさせていただき依頼を出させていただき、第 1 回目を先日おこなっております。協議の中で、協定者のご意見は急がずじっくり話を煮つめていき、海津木苑の将来構想については、地元や古賀市民や行政双方が納得する形で、進めるべきとのご意見をいただいている。

[質疑]

委員 : 今の中身は理解しているつもりです。協議をしっかりとした上で、タイムリミットがあると思うのでお聞きしたい。

[答弁]

部長 : 市長には、整理したものを 2 月 10 日過ぎに報告をしたい。その後、市長がご

判断されるタイミングについては、この場では私より申し上げられませんので、ご理解いただきたい。

[意見]

委員 : 地元との協議が大前提であることは、理解している。仮にバイオマス発酵施設を建てるとなった場合、建設から稼働の期日を逆算すると、何年何月までには方針決定する必要が生じてくると思います。

いくつかのケースに応じてスタート時期は決まってくると思うので、2月の報告書の上がり具合を次回委員会で報告願いたい。

[意見]

副委員長 : 海津木苑の将来構想とバイオマスは、私は別と思っています。市側とすれば一緒になるような感じがしています。

海津木苑の将来構想については、施設使用期限まで6年程あるので、ここ1～2年は地元としっかり協議を行っていただきたい。

4. その他

[説明]

部長 : 啓発冊子については、さらに精査し製本をしたいと考えております。増刷のご意見に関しましては、市のホームページにアップすると同時に職員には、パソコンの掲示板でPRを行いたい。

また、古賀市内及び新宮町含め9小学校の子どもたちに配布し、ご家族にも見るきっかけ作りをしてほしいと言うようなご意見もありました。この件については、製本後データを印刷業者よりいただきますので充実したデータの活用を検討したい。

[意見]

副委員長 : 作成している啓発冊子について、他課の意見等伺い検討し、よりいいものを作成していただき、次回2月期にもう一度提案いただきたい。部数については、納得できないので意見として聞いていただきたい。

[意見]

課長 : 啓発冊子については、2月の運営委員会で再度提案させていただきたい。

16 : 35 閉会

※ 次回の運営委員会は、2月を予定しております。

以上

この会議録が正確であることを証明するため会議録署名人次に署名捺印する。

平成 29 年 月 日

委員長

印

委員長の指名する
出席委員

印